

# 山梨長野交流圏域活性化計画 (事業区分：広域連携)

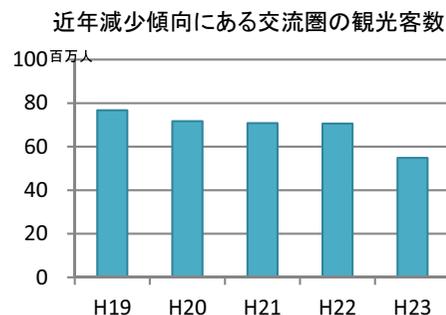
## 1. 地域の現状と課題

### 【現状】

首都圏の西部に位置する山梨県、長野県は、自然、歴史、文化や食を始めとした多様な地域資源を有するエリアであり、古くから甲州街道で結ばれ、交流が盛んである。現在は、中央自動車道や国道20号等により、長野県の中南信地域と山梨県が結ばれている。

### 【課題】

近年、山梨県と長野県中南信地域において、観光客数が減少傾向となっている。このため、広域にわたる活発な人の往来を通じた地域の活性化を図ることが重要となっている。



## 2. 計画の目標

巨大な観光需要を抱える首都圏の周辺部に位置する特性を活かし、中央自動車道、長野自動車道、中部横断自動車道、三遠南信自動車道から観光地へのアクセスを強化するとともに、山梨長野交流圏域において、豊かな暮らしを実感できる、交流・連携した取組を通じて、魅力あふれる圏域づくりを進めていくことにより、交流圏の観光活性化を図る。

## 3. 事業の内容

【計画の期間】平成24年度～平成28年度（5年間）

【事業実施主体】長野県（山梨県と連携）

### 【計画の成果目標】

計画の成果目標	H24 (現況値)	H26 (目標値)	H28 (目標値)
近年減少傾向にある山梨長野交流圏域における入込観光客の増減率	54,874千人	0.5%増 55,148千人	1.0%増 55,423千人
長野県域内における入込観光客の増減率	41,796千人	0.5%増 42,004千人	1.0%増 42,214千人

※1 (入込観光客の増減率) = (評価時点の年間入込観光客数) / (H24の年間入込観光客数)

### 【事業の主な内容】

基幹事業 : 道路改築事業 20箇所

関連事業 : なし

効果促進事業 : 山梨長野交流圏広域観光推進事業 1箇所

### 【箇所数と事業費】

	県	市町村	計
基幹事業	20箇所 50.2億円	—	20箇所 50.2億円
関連社会資本整備事業	—	—	—
効果促進事業	1箇所 未実施	—	1箇所 未実施
計	21箇所 50.2億円	—	21箇所 50.2億円

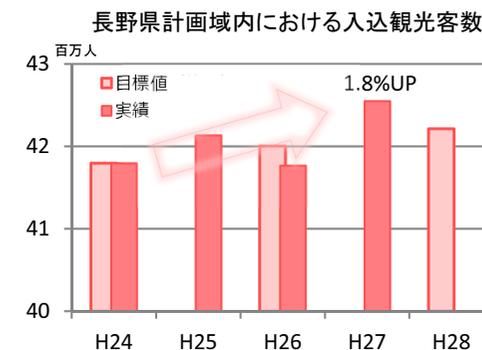
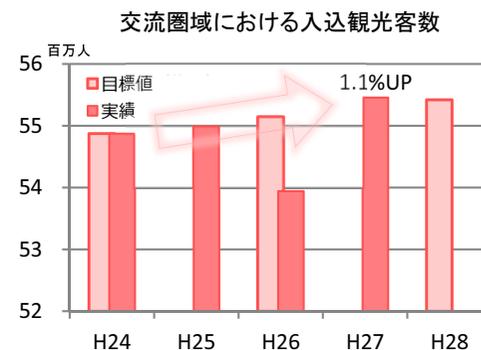
※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります

## 4. 中間評価の結果

### 【目標値の達成状況】

計画の成果目標 (中間)	H26 (目標値)	H26 (実績値)
近年減少傾向にある山梨長野交流圏域における入込観光客の増減率	55,148千人	1.7%減 53,945千人
長野県域内における入込観光客の増減率	42,004千人	0.1%減 41,769千人

※1 (入込観光客の増減率) = (評価時点の年間入込観光客数) / (H24の年間入込観光客数)



### ■ 事業効果の発現状況

- ・ 中間のH26年度は、7,8月の豪雨や9月の御嶽山噴火など、天候不順や災害の影響があり、目標値を達成していない。
- ・ 各観光施設において遊歩道整備やスポーツ、宿泊施設を利用したイベントの開催等により観光振興を図っており、広域連携事業の道路改築による支援を行った結果、交流圏域及び県内計画域内において観光客数に増加傾向が見られ、完了時の目標達成の可能性は高い。

## 5. 評価と今後の方針

地域の自発的な観光誘致活動と、それを支援する本計画による支援の効果がみられ、今後も地域の自発的な観光活性化に向けた取り組みを支援するため、平成29年度以降の継続計画を策定し、地域の更なる発展を促す。

## 整備効果事例

### 事例① 道路改築事業 (一) 与地辰野線 辰野町 羽場



#### 整備効果

整備前

イライラ...

整備後

すーいすい♪



至塩尻市

右折レーンがなく渋滞が発生  
(主要渋滞箇所：羽場交差点)



至伊那市

交差点改良により渋滞を解消  
周辺の観光地へのアクセス性が向上

整備前

狭いね...

整備後

これで安心♪ みんなで渡ろう



至伊那市

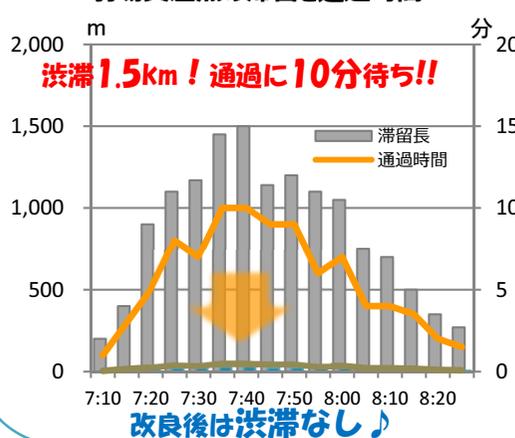
歩道の溜まり場が狭く、  
自動車との接触の危険性



至伊那市

歩道の拡幅により  
歩行者の安全を確保

羽場交差点の滞留と通過時間



荒神山公園の入込観光客数



## 整備効果事例

### 事例② 道路改築事業

#### (一) 上松南木曽線 上松町～大桑村 登玉～和村



宿泊で140～150人、  
ゴルフで400～500人が  
キャンセルとなってしまう・・・  
木曽町のホテル支配人

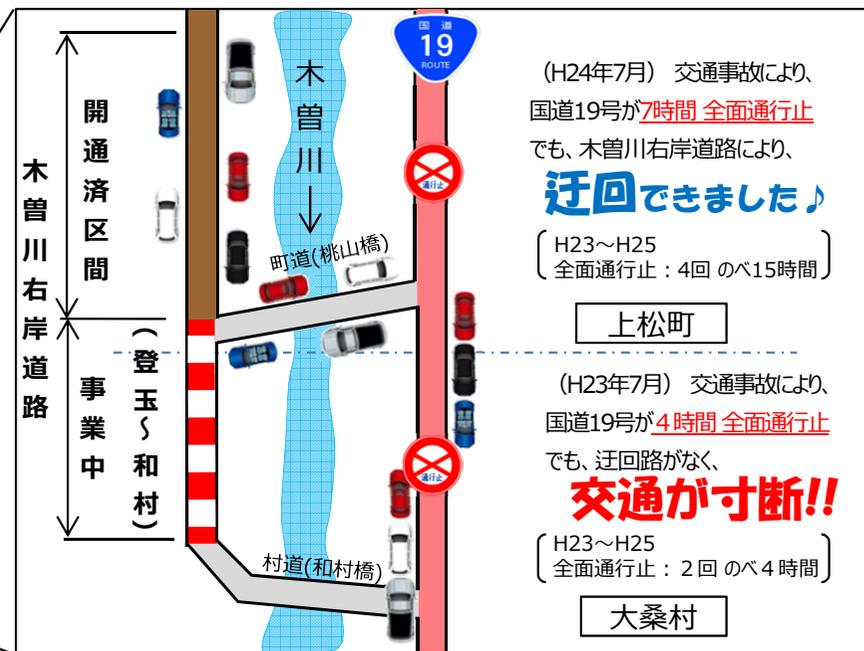
平成18年7月豪雨災害時



— 開通済区間  
— 事業中

### ■ 整備効果

#### ■ 木曽川右岸道路の効果



#### 整備前



幅員が狭く、  
線形が悪い

#### 整備中



道路の拡幅により  
円滑な通行を確保

## 整備効果事例 (整備状況)

### 事例③ 道路改築事業 (国) 152号 茅野市 杖突峠



#### ■ 整備効果

整備前



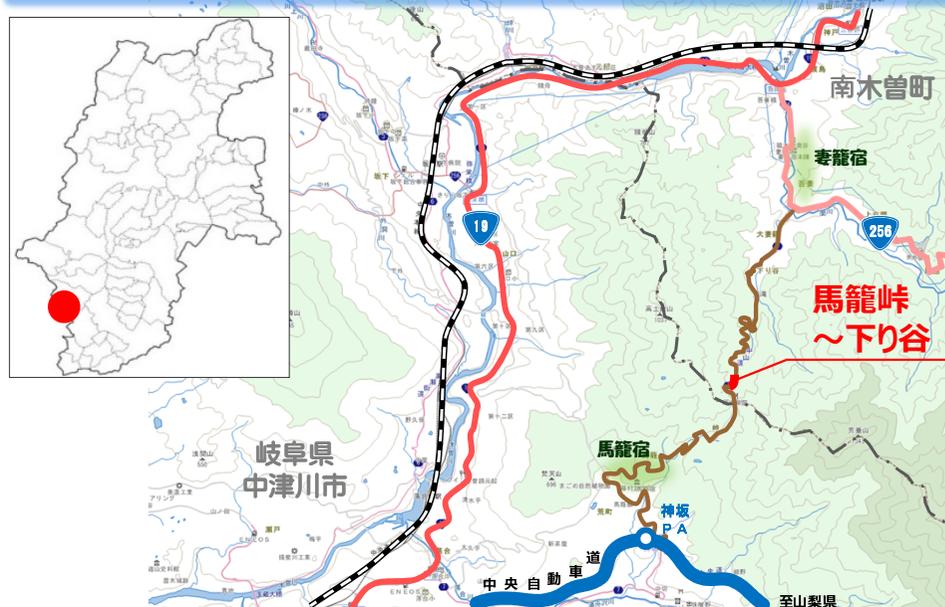
法面に崩落が見られ、  
通行が危険な状態

整備中



法面の整備と拡幅により  
通行の安全を確保

### 事例④ 道路改築事業 (主) 中津川南木曾線 南木曾町 馬籠峠～下り谷



#### ■ 整備効果

整備前



幅員が狭く、すれ違いが困難  
(前後は改良済み)

整備中



道路の拡幅により  
県境唯一のボトルネックを解消